

京都三山の保全・再生を目指した山作りについて
～市民とともに進める「絆の里山」整備～

京都市では、市民の里山として東山、北山、西山の名で親しまれ、かけがえのない公共財産となっている京都三山を京都市森林整備計画で「森林と人との共生林」に位置づけており、この度、森林所有者やNPO法人とのパートナーシップのもと、景観整備、市民への開放、野生動物の保護等といった環境保全を目的とする森林整備として「絆の里山」整備事業を下記のとおり実施しますのでお知らせします。

記

1 京都市森林整備計画における森林整備の方向性について

京都市では、森林・林業基本法や森林法の改正を受け、平成14年に策定した「京都市森林整備計画」において、市内の民有林約39千haを「水土保全林」24千ha、「資源の循環利用林」10千ha、「森林と人との共生林」5千haに機能区分し、地域特性に合った多様な山作りを目指すこととなりました。

とりわけ、「森林と人との共生林」については、世界文化遺産をはじめとする数多く存在する文化財建造物（神社仏閣）の借景の場やお盆の風物詩として有名な大文字送り火等の場として、京都三山の森林と位置づけられ、保健文化機能や生活環境保全機能の高度な発揮が求められることから、今後、同共生林を、市民が活用できる緑豊かな森林空間や生態的にも優れた良好な自然環境となるよう整備していきます。

2 実施予定地、内容及び期間

本年度から、次の2地区をモデルケースとして整備を進め、今後、地元関係者と調整を図りながら、順次実施地区を広げていくこととしております。

○銀閣寺地区

- (1) 森林整備の予定地, 森林所有者
 - ・ 左京区大文字山, 鹿ヶ谷
 - ・ NPO 法人大文字保存会, 法然院, 銀閣寺など
- (2) 森林整備の概要
 - ・ 大文字送り火鑑賞支障木の伐採をはじめとする天然林(シイ, カシなど常緑広葉樹)の不用木伐採, 枝払い
 - ・ 人工林(スギ・ヒノキなど)の間伐, 除伐, 枝打ち
 - ・ 野生生物共生林(ビオトープ)の整備
- (3) 実施期間, 整備面積
 - ・ 平成15年度～平成20年度まで
 - ・ 50ha

銀閣寺地区における大文字山周辺の「絆の里山」整備の展開にあたっては、京都府が緑の公共事業として実施する森林整備と連携して一体的な整備内容となるよう、府市協調で取組みを進めることとしています。

○稻荷山地区

- (1) 森林整備の予定地, 森林所有者
 - ・ 伏見区稻荷山
 - ・ 伏見稻荷大社
- (2) 森林整備の概要
 - ・ 天然林(シイ, カシなどの常緑広葉樹)の不用木伐採, 枝払い
 - ・ 人工林(スギ・ヒノキなど)の間伐, 除伐, 枝打ち
 - ・ 野生生物共生林(ビオトープ)の整備
- (3) 実施期間, 整備面積
 - ・ 平成15年度～平成20年度まで
 - ・ 35ha

3 事業実施の取組みに至るまでの経過

- (1) 平成14年4月に京都市森林整備計画を策定
- (2) 平成14年10月から、地元関係者から要望に基づき、要望箇所の現況調査を実施
- (3) 平成15年10月、「絆の里山」整備事業の整備内容を決定
- (4) 平成16年1月着手予定、全体で5ヶ年計画

(参考)

森林整備予定地（銀閣寺地区, 稲荷山地区）の外観写真・・・資料 1

森林整備概要図（銀閣寺地区, 稲荷山地区）・・・資料 2

京都市森林整備計画 公益的機能別施業森林区域図（森林と人との共生林位置図）・・・資料 3

資料1 森林整備予定地（銀閣寺地区，稲荷山地区）の外観写真



銀閣寺地区
大文字山

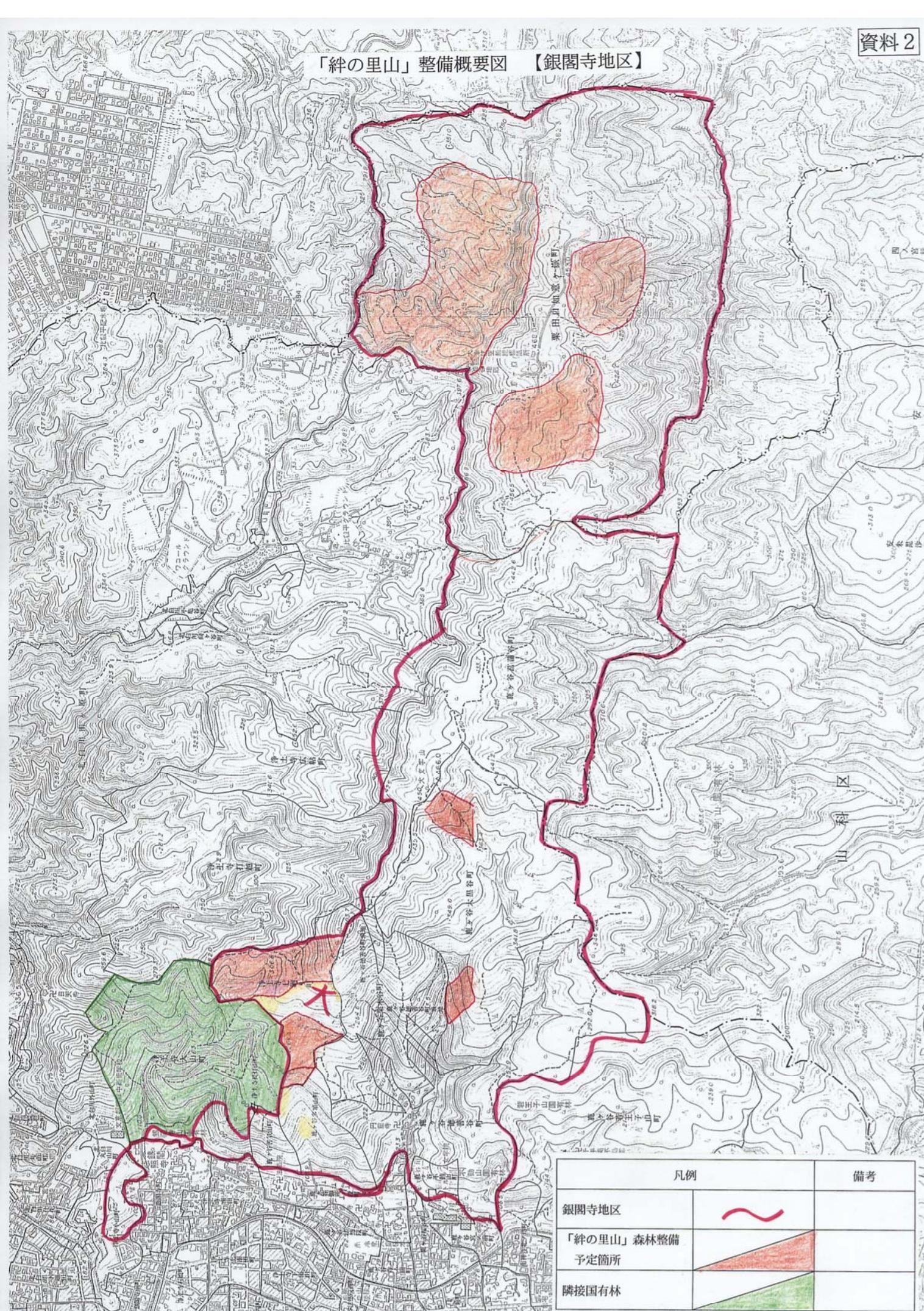


銀閣寺地区
大文字山



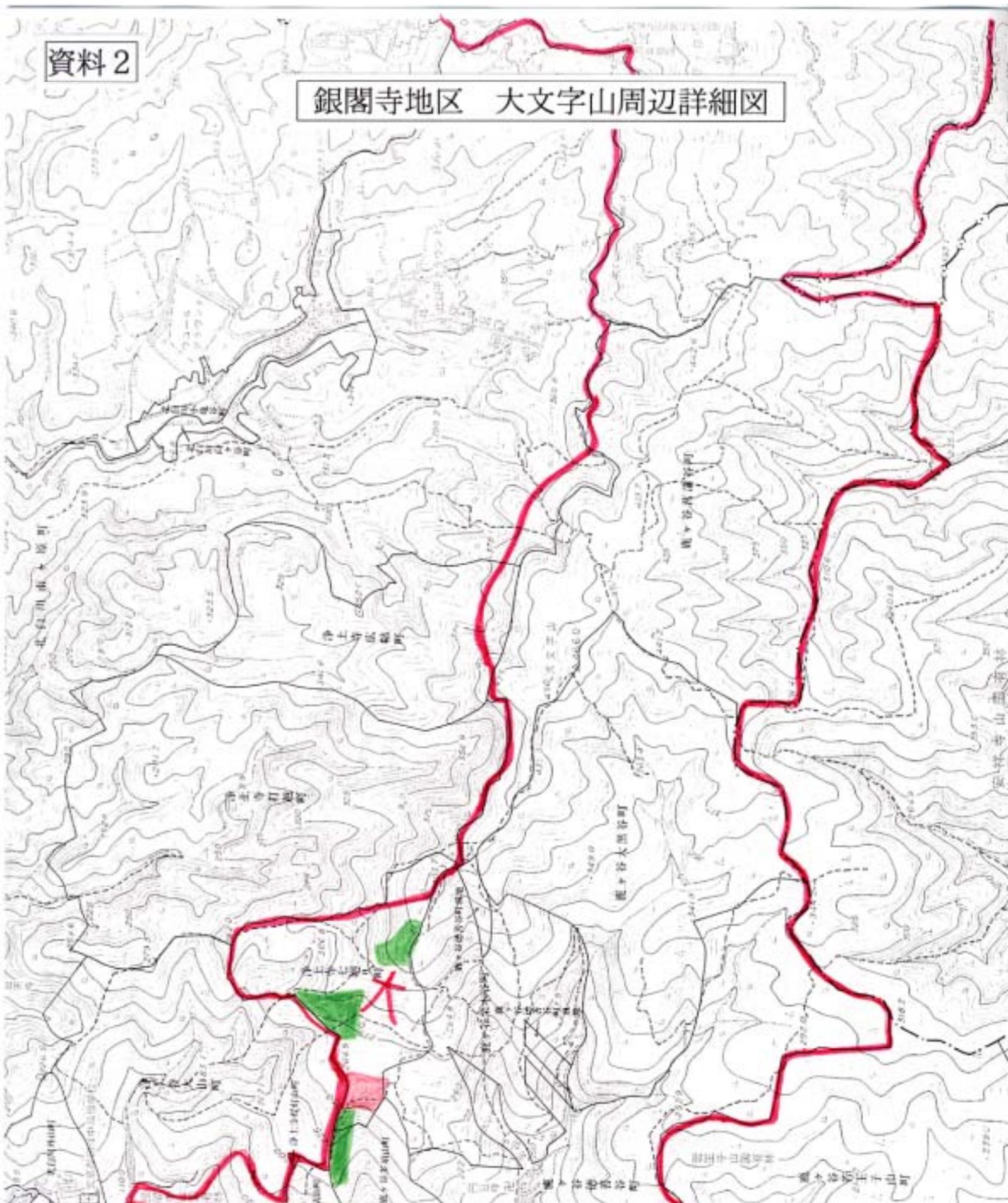
稲荷山地区

「絆の里山」整備概要図 【銀閣寺地区】



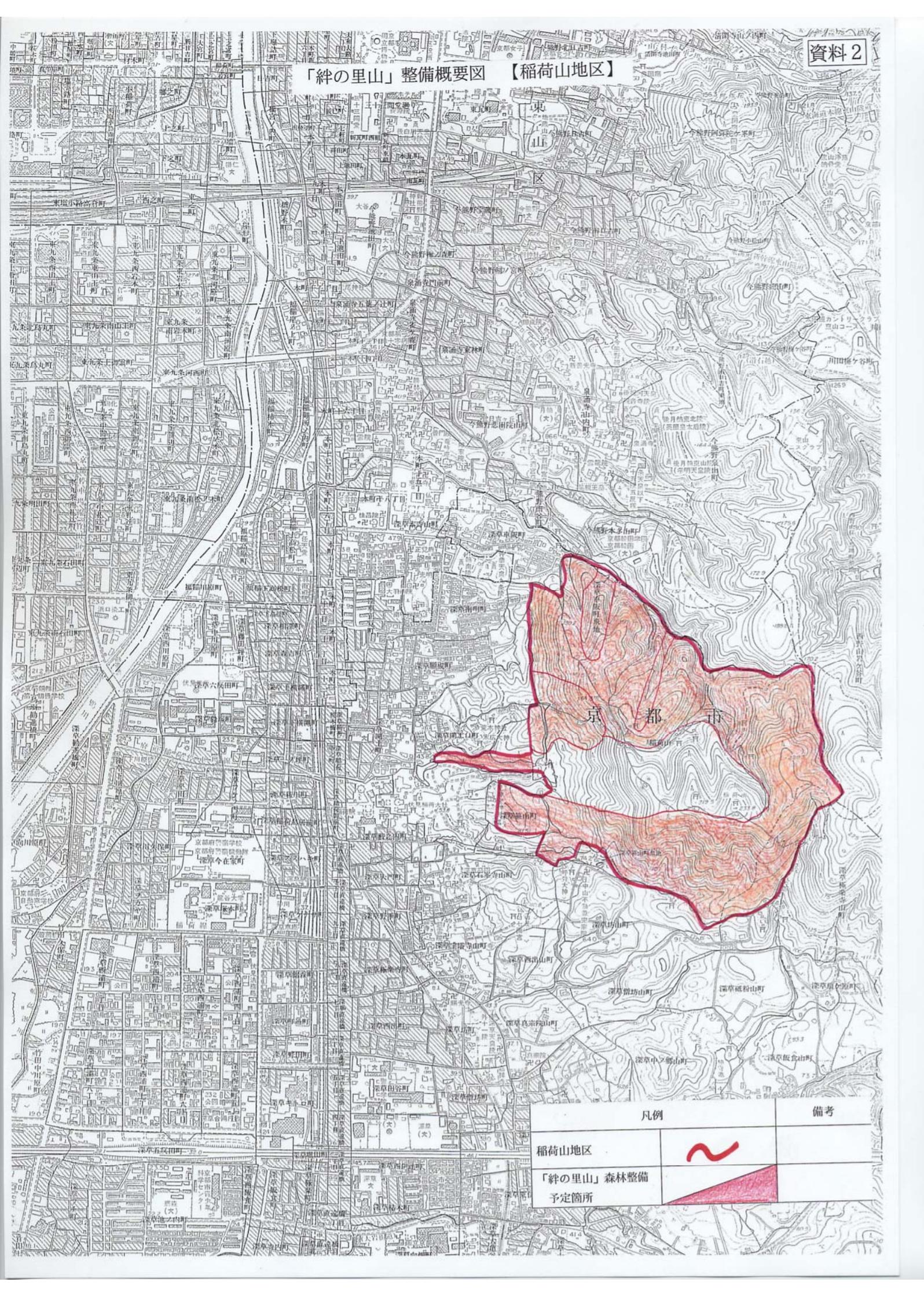
凡例		備考
銀閣寺地区		
「絆の里山」森林整備 予定箇所		
隣接国有林		

銀閣寺地区 大文字山周辺詳細図

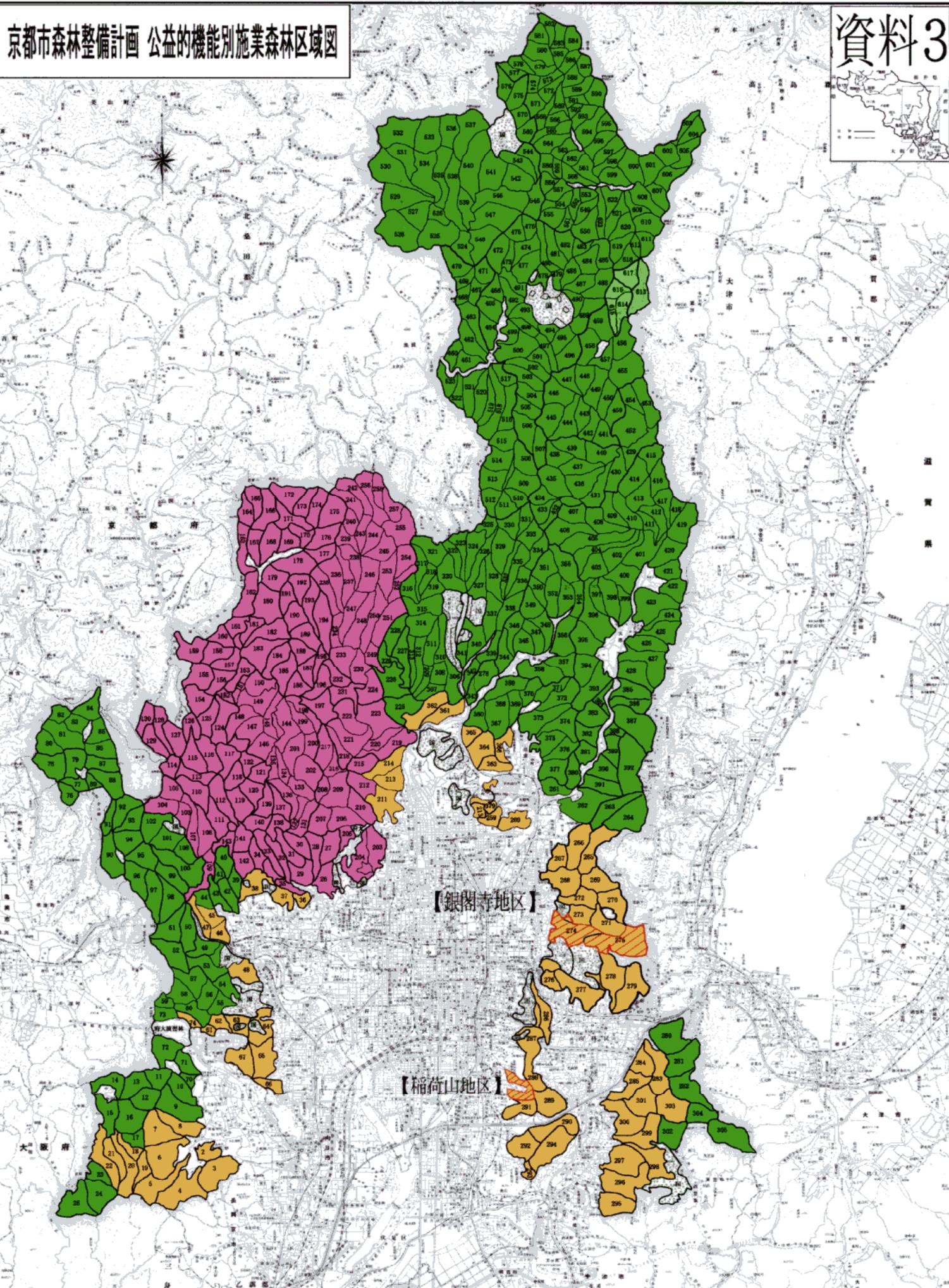


平成15年度事業予定箇所		備考
「絆の里山」森林整備 予定箇所		
京都府「緑の公共事業」 森林整備予箇所		

「絆の里山」整備概要図 【稲荷山地区】



凡例		備考
稲荷山地区		
「絆の里山」森林整備 予定箇所		



凡例	
水土保全林	
森林と人との共生林	
資源の循環利用林	

凡例	
水土保全林	
長伐期施業森林	